

各関係機関長
各病害虫防除員

宮崎県病害虫防除所長

平成11年度病害虫発生予察注意報第2号について
平成11年度病害虫発生予察注意報第2号を発表したので送付します。

平成11年度病害虫発生予察注意報第2号

平成11年7月26日
宮崎県

病害虫名 かいよう病

作物名 かんきつ

1 発生地域 県下全域

2 発生量 多

3 注意報の根拠

- 1) 3月中旬に行った巡回調査の結果、越冬病斑量は平年よりやや多く、春葉の初発も5月1日で平年より6日早かった。
- 2) 7月中旬の巡回調査の結果、果実での発生ほ場率は22.2%（過去4カ年平均4.6%）、発病果率は1.3%（過去4カ年平均0.2%）であり、特に県北で病葉率の高いほ場が目立った。
- 3) 梅雨期の長雨と日照不足で本病の発生に好適な条件となり、発病が増加した。
- 4) 7月19日に発表された3か月気象予報によると、気温は平年より高く、降水量、日照時間は平年並と予想されている。

4 防除上の注意

- 1) 薬剤散布は予防散布を原則とし、発病した枝葉は伝染源になるので可能な限り取り除き、園外に持ち出し焼却する。
- 2) 風雨により発病が増加するので、防風垣を整備して枝葉を傷めないようにする。
- 3) 台風襲来等にもなう枝葉の損傷は、発病を促進する最も重要な要因となるので、事前の薬剤散布を徹底する。
- 4) ミカンハモグリガの被害も重要な病菌侵入口になるので、夏梢の発生の多いほ場では防除を徹底する。

5 その他

- 1) 薬剤の使用にあたっては、農薬安全使用基準の遵守並びに危被害の発生防止に努める。
- 2) 薬剤等、その他詳細については、「平成11年度病害虫・雑草防除等指導指針」を参照のこと。